

護持会広報

編集・発行 放光院護持会広報担当

作成日 2021. 5. 1

令和3年度春季放光院護持会総会開催（3月14日）



○世話人は次の方に決まりました。

代表：吉井正喜（白井東） 副代表：福本辰志（金浦）

会計：関口忍（口小倉） 監事：藤原昌善（白井西）

庶務：岩村昇（野間） 衣川茂男（平野）

○会計・監査報告

○協議事項 ①「88ヶ所石仏巡りの日」、研修会の

開催とガイドブック作成、ガイド養成に着手 ②石

仏祠修繕（54・65・66番）「一口1,000円」寄

付受付中 ※破損した石仏（17体）の修覆は今後の

課題 ③88ヶ所石仏巡りの案内板増設 福知山観光

協会夜久野支部に要望 ④夜久野支部発行の石仏めぐりパンフレット（石仏11～13番）の訂正

⑤春季大師祭について 今年度はコロナ禍のため、読経、護摩焚きのみ実施し他のイベントは中止する

4月20日（火）前日準備

午前9時に集合して地区毎の分担に従って作業を進めました。場所によって作業時間に違いがでましたが、11時頃には解散の運びとなりました。

【主な作業内容】

・護摩木の受付 ・境内及び88ヶ所石仏巡り
参道の清掃作業、賽銭回収（1番～72番を各地区で分担）

・護摩壇の準備（竿竹5本、檜葉、
檜の間伐材）・お供え物（野菜、果物、お餅等）

春のお大師さん

4月21日（水）

護摩炊き祈願



「両丹日日新聞記事を基に加筆」

好天に恵まれた21日、福知山市夜久野町と朝来市山東町、和田山町の三町住民で組織する「放光院護持会」（吉井正喜会長）は、茶堂で春の大師祭を営んだ。コロナ禍で今回は読経と護摩炊きを行いコロナ退散や家内安全を祈願した。

大師祭は、一昨年からは夜久野町内の有志でつくる高原観光推進組織「やくの絆の会」（森山龍彦会長）が協力している。関係者約30人が参列。川北の丹波修験山岳道場の清水隆泉主管を導師に迎えての護摩炊きがあった。放光院は、西国観音霊場の第27番札所・円教寺から第28番札所・成相寺（宮津市）に向かう巡礼道・成相道沿いにある。

大師祭は最近、福引きや紅白餅まき、奉納太鼓、演奏、お茶席などで多くの参拝が見られるようになり、三町住民が交流する機会にもなっている。そして、なにより大師祭や88ヶ所石仏巡りを中心として茶堂や高原の魅力を発信する気運が高まっている。その準備としてガイドブックやガイドの養成に着手している。